

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月27日

事業所名:わくワーク広場 おーぶ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		活動の場所と自由に過ごす場所の区別をし、メリハリをつけている	飛び出し等の危険性がある場合を踏まえ、施錠の見直しを致しました。
	2 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		必要配置数+2以上になるように人員配置のシフトを組んでいます。	更に体制を整えてまいります。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		1Fはスロープとユニバーサルトイレを設置しています。	2Fへは現在階段のみでの昇降で、万一2Fへの利用がある場合は、人力での移動対応を致します。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		月1回の法人全体のミーティング、週1回の事業所会議を行い、共通理解をしています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		保護者アンケートを実施して「保護者等向け評価表」を作成しました。	全てが「はい」と評価いただけるよう取り組んでまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		ホームページで公開しております。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		今後、第三者による外部評価制度も導入する予定です。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		月1回の法人内スタッフ研修の実施や外部研修への積極的参加をしております。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		児童の日々の様子や保護者のニーズ・課題を分析して計画書を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		BPSモデルのアセスメントシートを使っております。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		活動プログラムの内容は毎月開催しているスタッフ会議で意見を出し合い、決定しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		活動プログラムが固定化しないよう、また子どもたちが様々な経験を詰めるよう意見を出し合い工夫しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>		子どもたちの人数や年齢・特性等に応じて、プログラム内容を考えて提供しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		子どもの状況に応じて、本人の希望や課題に合わせ、計画しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		毎日、支援前に「支援の内容」や「役割分担」について確認をしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		毎日、支援後と翌日の昼礼時に課題や気づいた点、引き続き注意観察する点などを共有しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		毎日、支援記録をし検証・改善をしています。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年ごとにモニタリングをし、計画の見直しをしております。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		さまざまな活動を取り入れ、支援を行っております。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		内容を良く把握している職員と児発管が参加しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		常に連絡を取り合っており、圏域のデイサービス連絡協議会の共通ルールのもと連絡・調整を行っております。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医師の指示に基づき看護師の指導の基に医療行為を研修を受けた職員が実施する予定であるが、現在、医療的ケアの必要な児童は在籍しておりません。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		利用を開始する際には、保護者や関係機関から情報収集し、支援計画を策定しています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		要請があれば、保護者同意の基に情報提供を行っております。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修参加や連携はしておりますが、支援は受けていません。毎月、作業療法士や専門家に独自で助言や支援を受けています。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	学生ボランティアの方と夏休みは交流をしています。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加しています。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		オンラインシステムで記録を閲覧できるようになっています。そのほか、LINEやメール、送迎時、その他電話などでも連絡を取り確認をしています。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		定期的に相談会を実施しているが、「ペアレント・トレーニング」は行っていません。	今後実施していく予定です。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用を開始される際と年に1度利用更新の意思確認時に再度説明いたしております。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的に相談会を開催しております。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		毎年12月に開催しています。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情相談受付窓口を設置、責任者を置いて対応している。苦情があった際は迅速に対応し、理事会での報告事項としています。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月活動の様子を「おぶ通信」で発行し配布しています。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○		紙ベースは鍵付きのキャビネットへの保管とパソコン等へのアクセスはパスワード設定による不正アクセスを防止しています。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・保護者には連絡帳やメールにて、その日の内容や様子をお伝えしています。 ・児童との情報伝達については、図や絵などを用いて分かりやすくしています。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の行事に参加しているが、事業所行事への参加呼びかけは行っていないので、今後呼びかけていきます
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		保護者の方には周知していないので、配布したい。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		災害だけでなく、地震、防犯の訓練も行っていきます。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		「言葉の投げ掛け方」については、精神的な虐待に繋がることを周知するため、定期的な「虐待防止研修」に参加しています。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		「どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて」はてんかん発作の兆候があり車いす対応する時にベルトを使用する場合など、予め同意書に署名、身体拘束簿に状況を記載して対応する旨、組織的には決定しているが、放課後等デイサービスについては、現在身体拘束は行っていません。	マニュアルを作成しておらず、周知徹底がされていない恐れがあるので、早急にマニュアルを作成したい。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示や保護者からの情報に基づいて、食物アレルギーのある方については、配慮をして対応している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		